

平成27年(2015年)1月2日  
強い冬型の気圧配置による大雪  
(京都府などで大雪)

---

～ 「自らの命は自らが守る」 社会を支える取組 ～

大阪管区気象台



## 大雪による交通障害が多数発生。負傷者や住家被害も

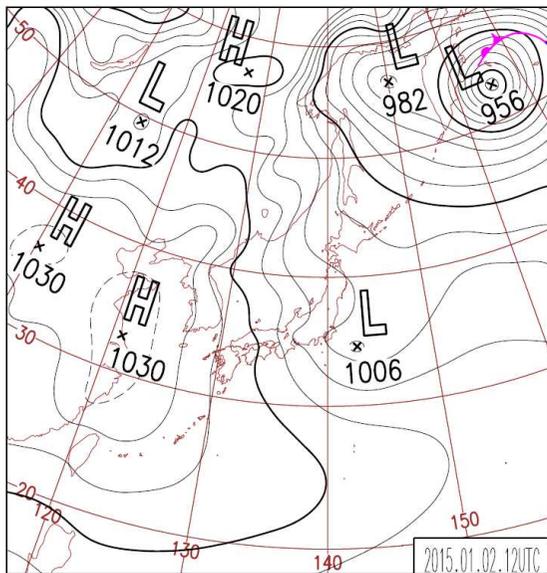
(高速道路や一般道路で通行止め多数、鉄道でも運休や遅延が発生、負傷者や住家の半壊等の被害も発生  
京都市では降雪の深さ日合計が1月2日、1日それぞれ極値順位の2位と3位で、連日の大雪となった)

### 【概要】

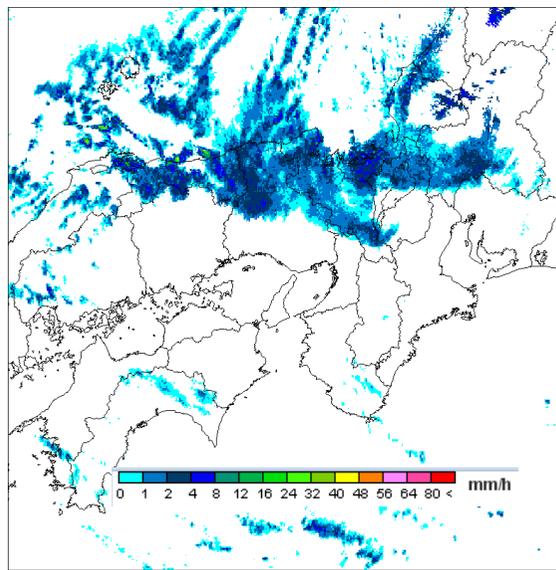
平成26年12月31日15時に能登半島付近にあった低気圧は発達しながら東へ進み、平成27年1月1日03時には三陸沖に進んで、冬型の気圧配置が強まっていた。このため近畿地方では北部を中心に1日から3日にかけて雪が降り、京都市では1月2日の降雪の深さ日合計が17センチで極値順位が2位、前日の1日には降雪の深さ日合計が16センチで極値順位が3位となり、連日の大雪となった。(統計期間：昭和28年1月～)

この大雪により、京都府では高速道路で長時間にわたる通行止めが発生したほか、京都市内のバスも運休するなど、交通障害が多数発生した。また、京都市内で転倒により50名が救急搬送されたほか、雪の重みによる建物の損壊、停電なども発生した。

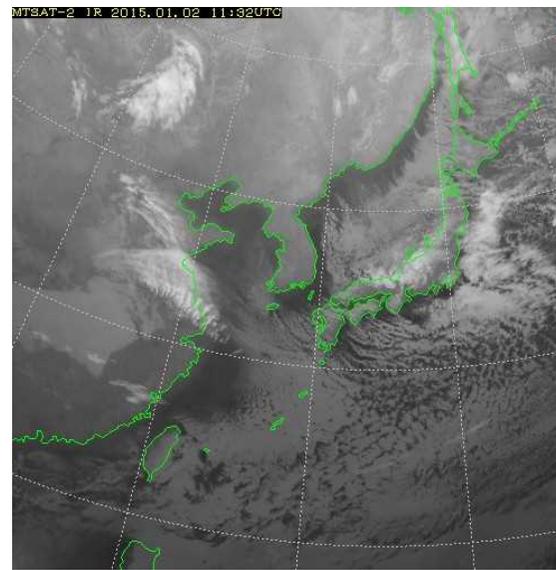
被害は当時の新聞記事等から収集したものです。



地上天気図  
(平成27年1月2日21時)

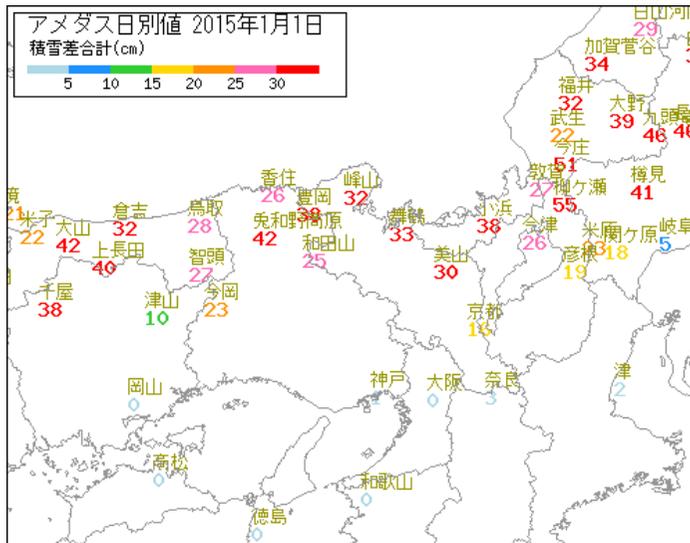


気象レーダー画像  
(平成27年1月2日21時)

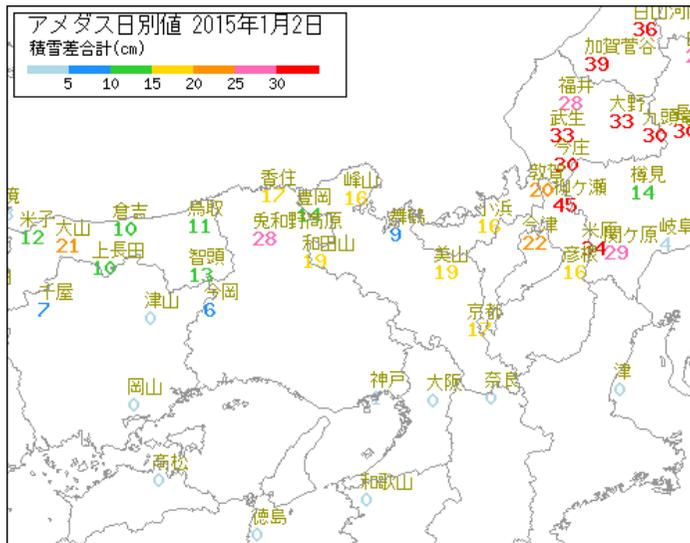


衛星赤外画像  
(平成27年1月2日21時)

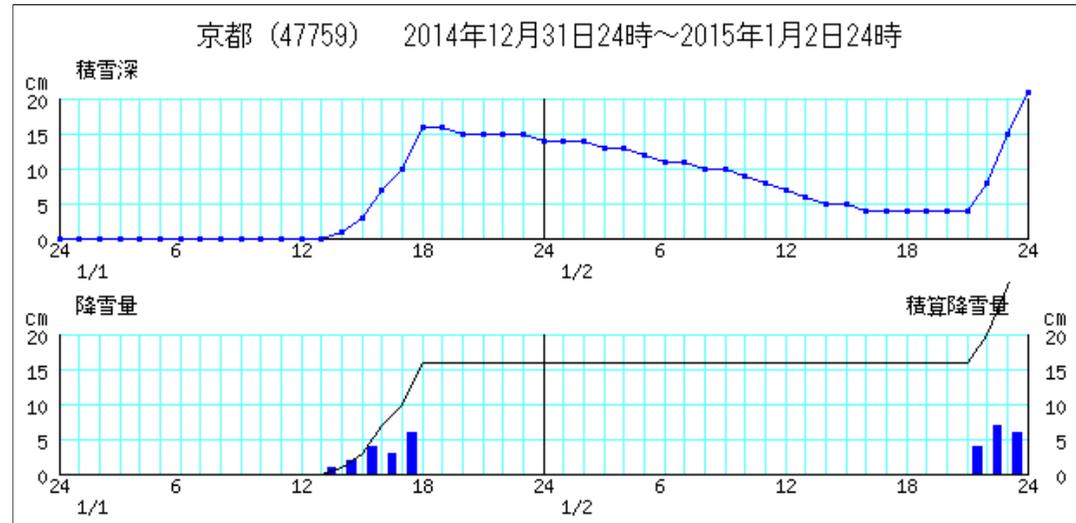
統計等は2021年1月4日現在です。



降雪量 (平成27年1月1日の合計値)



降雪量 (平成27年1月2日の合計値)



京都の降雪と積雪の深さ (平成27年1月1~2日)

## 雪がもたらす災害

積雪害	鉄道や道路に雪が積もり交通障害をもたらす。また交通障害に伴い、生活・企業活動への影響を及ぼす。農作物への被害など。
風雪害	吹雪によって視界が悪くなり、交通障害や事故をもたらす。
雪圧害	積もった雪の重みで家屋・施設が倒壊したり、果樹などの枝が折れて損傷する被害。
雪崩害	斜面の雪の一部が崩壊してもたらされる災害。
着雪害	湿った雪が送電線や通信線に付着して、その重みで断線したり、鉄塔や電柱などが倒壊する被害。また樹木等にも湿った雪が付着して、その重みで枝が折れて損傷する被害。